

議事録・議事概要

審議会等の名称	令和7年度 第1回阿見町地域ケア推進会議	
開催日時	令和7年7月23日（火） 10時00分から11時00分	
開催場所	さわやかセンター2階 大会議室	
議 題	(1) 委嘱状交付 (2) 課長挨拶 (3) 委員自己紹介 (4) 議事 1：会長及び副会長選出 2：阿見町地域ケア会議の実施方針及び会議構成 3：令和7-8年度の会議予定 4：阿見町長寿福祉計画・第10期介護保険事業計画策定に向けた提言の進捗について	
参加者	・茨城県立医療大学：松田会長 ・民生委員：青山委員 ・東京医大：加藤委員 ・茨城県歯科衛生士会：岩村委員 ・特養セントラル阿見：伊藤委員 ・地域包括支援センター：高橋委員 ・高齢福祉課：栗原委員 ・阿見ケアマネ会：小田副会長 ・茨城県立医療大学：藤田委員 ・土浦薬剤師会：金澤委員 ・社会福祉協議会：小林委員 ・特養阿見翔裕園：加川委員 ・地域包括支援センター：中村委員 ・健康づくり課：西澤委員	
欠席者	・茨城県立医療大学付属病院：岸本委員	
議事結果	(1) 委嘱状交付 (2) 課長挨拶 (3) 委員自己紹介 (4) 議事 1：会長及び副会長選出 事務局から、会長および副会長は、阿見町地域ケア会議運営要綱第5条の規定により、委員の互選によって定めることとなると説明した。委員より事務局案の提示の促しがあり、事務局から会長に松田委員、副会長に小田委員を挙げ、委員一同の同意を得て、松田委員が会長、小田委員が副会長に就任した。 2：阿見町地域ケア会議の実施方針及び会議構成 3：令和7-8年度の会議予定 事務局：会議資料1をもとに説明。 4：阿見町長寿福祉計画・第10期介護保険事業計画策定に向けた提言の進捗について	

事務局：会議資料 3 をもとに説明。

会 長：これまでご参加いただいた先生方は何となくイメージがあると思いますが、こちらの対象となる人は、事業対象者、要支援者、要介護 1 の方でよろしいでしょうか。

事務局：はい。要介護 1 までの軽度の方を想定しております。

会 長：事業対象者、要支援者、要介護 1 の方を個別事例検討会では対象としていきますので、要介護 4-5 の重度の方、或いは要介護 2-3 の中等度の方ではなくて、対象となるのは軽度の方ということをイメージしていただきながらご議論いただければと思っております。評価会議で上がってきた内容について最終的に提言をまとめていただくという作業がございますので年 2 回開催になります。こちらの会議は最終的に、2 年後の 2 月頃に提言をまとめるという作業に向けて、それまでに個別会議で上がってきたことに関して、委員の先生方からご意見をいただければというふうに思っております。他に委員の先生方から、会議の進行等で確認したいこと等はございますでしょうか。

意見無し

会 長：それでは続きまして、「阿見町長寿福祉計画・第 10 期介護保険事業計画策定に向けた提言の進捗」について、事務局から一括して説明をお願いします。

事務局：会議資料 3 をもとに説明。

会 長：各提言の内容を含めまして、現在の進捗の内容、今後取り組むべき計画、課題等をご説明いただきまして、ありがとうございます。委員の先生方からこういうのを実際に取り組んでいるとかそういうところも含めてご意見等いただければと思います。いかがでしょうか。

意見なし

会 長：私からですが、今までだと事業計画に対して、1 回から 3 回、4 回、5 回に増えるように、回数が増えたらいいよというような評価指標が多かったと思いますが、この提言に関しては、回数もそうですが、内容を充実させるためにどういうことをすればいいかという指標で進捗していること等をご報告いただきました。この中で一つだけ教えてもらいたいのは資源マップについて、アンケートを取られたということも含めて、在宅医療・介護連携推進協議会で同じようなご意見が出て、ホームページの作成をしてもらおうということですが、今年度か来年度といった目途というか、状況を教えていただければと思います。

事務局：資源マップですが、アンケートは報告にありました通り、区長さんと民生委員さんをお願いして情報を集めたというところまでなので、これをホームページで公開するかどうかというところについてはまだはっきり決まっていない状況です。ケアリーダー養成講座に参加している方というのは地域でボランティア活動をしてみたいという意欲のある方です。そういった方が地域に参加するためにどういった活動に加わっていけばいいかというヒントにしてくださいということ趣旨としてアンケートを行っているので、まずそちらに情報提供する予定です。ただし、住民の皆さんにも伝えていきたいと思っているので、それをどのような形でというところがまだ目途が立っていない状況です。

会 長：ありがとうございます。町の医療機関、薬局、介護事業所の検索サイト、地域包括支援センターのサイトをまとめたページというのはいかがですか。

事務局：そちらの方はページのアップはもう済んでおります。ただ、関係機関の方々にページを作成したという周知ができていないところや、住民にこのページを見れば薬局・病院がある場所等がわかるということをお伝えできていないというところが課題の一つに挙がっています。在宅医療・介護連携推進協議会の中でも、住民への地域包括支援センターの周知であるとかそういった情報の周知というのが、十分ではないというような課題も上がっています。紙媒体で、1枚の紙にまとめたものを作って、必要な方が立ち寄るような場所、例えば病院や診療所等に置かせていただいて、手に取れるような形での提供をしたいと考えています。目途としては今年度中を目標としています。

会 長：ありがとうございます。続いて日中独居の方や高齢者に対する支援について前回の会議で、いわゆる独居ではなくて日中に独居になる人たちが課題であるというところをご報告いただきました。今年度から町のごみ出し支援事業は、介護1の人たちも対象となり、緊急通報についても、備え付けの電話がなかったら利用できなかったが、それが携帯電話の人でも利用可能になったということで、要件も柔軟に緩和されて幅広い方への安全の対応がなされているのかなというように思いました。また、ACPについても、未来ノートやその活用講座を開催したというところで、いろいろご検討いただいて実践をしていただいている本当にありがたいなと思っております。関係する方々でも何かもっとこうした方がいいとかご意見いただけるとありがたいかなと思いますけれども、いかがでしょうか。

委 員：普及啓発のところ、高齢福祉課にいろいろとやっていただいておりますが、健康づくり課で実施している講座とか、定期的開催している地域の教室においても、普及啓発に関わらせていただけたらすごくいいなという思いがあります。そういうことに参加する方々は意識が高い方がすごく多いという特

徴があると思います。いろいろな場に参加していて情報を欲しがっているの
で、ACP の周知や資源マップについて情報があると、そこからどんどん広が
っていくのかなと思います。また地域に出てこない方々についてもそこから
広がっていきやすいのかと思います。教室の内容自体がすごく充実して、こ
こに来れば役場とか保健センターに行かなくても情報が得られるということ
は利用者にとってもプラスになるし、継続していくきっかけにもなるのかな
と思います。ぜひご協力していければと思いますのでご検討いただければと
思います。

会 長：ありがとうございます。大きな一押しをいただいたので、健康づくり課がや
っている事業の場で、ご紹介もできますというお話だと思いますので、各関
係の方々もその中で連携していろいろ発信していただければいいのかなと思
っております。ほかにご意見等ございませんか。

副会長：高齢者等ごみ出し支援事業が令和 7 年 4 月から要介護 1 以上に拡大されたと
思いますが、利用状況というのは介護度を下げてからどのくらい増えたので
しょうか。いまどれくらい利用状況があるのか教えてください。

委 員：正確な数字ではありませんが、4 月から約 10 名増えております。全部で 21
名だと記憶しておりますが、3 名ほど中止と休止がいらっしまったので、実際
は 18 名というのが先週の記憶です。要介護 1 以上になってから、約 10 名は
申請があった状況です。

副会長：ありがとうございます。

会 長：他にもご意見等ございませんでしょうか。

委 員：先ほど資源マップという話が出ましたが、体制整備事業の中でも、住民の方
が何を取り組んでいきたいかということで、今年度民生委員さん、区長さん
に対して、地域で行っている住民活動のアンケートを実施していただきました。
この地域ではこういうことをやっているということが把握できるという
中で、ケアリーダーの方々も、やはり身近なところでやっていきたいという
ご意見があるので、町の地図の中に落とし込んでいきながら、目に見えるよ
うにして進めていけたらなと思っています。それ以外にも、体制整備の中で
地域の企業とつながるということをいわれているので、翔裕園さんとか、町
にある資源や企業の中で、住民のケアリーダーさんが手伝っていききたいとい
うものでつながれるようなものがあれば、ぜひ聞かせていただきたいですし、
マップに落とし込んでいきたいという考えがあります。民生委員さんや区長
さんがやっているもの、今サロンも立ち上がっていて、どここの地域でや
っているという情報があるので、地図上ではここにあるよというのを形にして
いきたいと思っております。自分たちが持っている情報というのが限定的な

ので、みなさんの中でも例えば、医大さんで健康講座をやっているとか、健康づくり課ではここで体操教室をやっている等の情報をいただけると、住民の方が通える場所などのマップになってくるのかなと思うので、声をかけさせていただいた時にはご協力いただければと思います。マップとして形にしていきたいが、更新等の課題があるので、考え中です。

会 長：ありがとうございます。貴重なご意見かなと思います。民生委員さんとか区長さんだけじゃなくて、施設さんでもボランティアとかそういう方の受け入れもあるかなということでご意見を聞かせていただきたい。翔裕園で何かありますか。

委 員：はい。翔裕園の方も 2・3 年前から地域貢献というところで地域との繋がりを大切にされていて、町の祭りであったり、施設で認知症の研修を一緒にやったり、今後はカフェであったり何なりを考えている中で、ボランティア団体さんと自ら連絡をとって繋がっていたので、逆に阿見翔裕園でこういうことができますよというところを表立って言うていただけたら私たちもありがたいです。

委 員：セントラル阿見はできて 5 年目になります。コロナの影響もあって、施設として地域貢献等ができていない。これからと考えているというところがあります。母体が、つくばセントラル病院なのでいろいろ協力できるところもあるかなと思いますので、これからいろいろと出来ればなと思っています。私たちの方はいろいろと相談させていただきながら地域のボランティアの方にも協力いただければと思っています。よろしくお願いいたします。

会 長：ありがとうございます。マップづくりは多分予算取りが難しいのかなと思います。今聞いていて、福祉と介護と高齢者と医療が全部重なってそのひとつのプラットフォームを作るということになる、いろんな課が跨って、予算をとらないといけないのかなと思います。どこかが一つでやっていただくという形か、それぞれ作ったものをどこかで一緒に見れるような感じでもいいのかなと思っています。ずっと資源マップを作るという話がありますので進捗等もありましたら、ご報告いただければと思います。貴重なご意見いただきました。ありがとうございます。他に先生方から先生方のご意見等ございませんでしょうか。

意見なし

会 長：委員の皆様、ありがとうございました。これにて議事は以上となります。進行を事務局にお返しします。

事務局：それでは皆様、ご審議ありがとうございました。皆様からのご意見を踏まえ

	て、今後も検討の方重ねて参ります。以上をもちまして、令和 7 年度第 1 回 阿見町地域ケア推進会議を閉会いたします。ありがとうございました。
--	--

— 終了 —